

くらしの情報ガイド **アラカルト**

募集

芦屋病院正規職員募集
試験日:10月5日(水) 看護講師・助産師(11月1日採用) 昭昭和44年4月2日以降に出生の有資格者若干名 10月3日(月)までに右記へ 芦屋病院総務課管理担当(☎31-2156)

お知らせ

特定優良賃貸住宅の入居募集
ライプウエスト東山、エクセル芦屋 自家所有でない、基準所得該当の世帯 78,400円~151,000円 都市整備公社(☎38-2110)

ハローワーク西宮開庁時間延長
ハローワークでは、土曜日の10時から17時(祝・年末年始を除く)まで、職業相談・職業紹介業務を行っています。
ハローワーク西宮(☎0798-75-6711)

県民緑税(平成18年度実施)
県民緑税(県民税均等割の超過課税)は、「緑」の保全・再生を社会全体で支える仕組みとして、税率を個人800円、法人2,000円~8万円(年額)で導入します。
県民緑税課(☎078-362-3086)

催し

国際交流協会の催し<要予約>
国際交流協会(34-6340)
【海外研修生の市内案内ボランティア】
10月7日(金)13時30分~(説明会)
21日(金)12時30分~16時(市内案内は13時10分~15時) 国際交流協会
【海外研修生の市内案内ボランティア】
10月7日(金)13時30分~(説明会)
21日(金)12時30分~16時(市内案内は13時10分~15時) 国際交流協会
【作って食べよう世界の料理】
9月24日(土)10時~14時 市民センター
【アメリカンヘルシックコンクッス】
9月24日(土)10時~14時 市民センター
【カルベディエムの会】
9月27日(火)13時~14時30分 市民センター
【今日を大切に生きる】
9月27日(火)13時~14時30分 市民センター
【今日を大切に生きる】
9月27日(火)13時~14時30分 市民センター
【今日を大切に生きる】
9月27日(火)13時~14時30分 市民センター

講習・講座

小学生テニス教室<月4回>
毎週土曜日9時~10時45分~雨天振り替え 総合公園 各15人(小学1年~3年 小学4年~6年) 月4,300円 9月22日(木)<必着>までに、往復はがきに住所・氏名・学年・学校名・電話・保護者名を記入し下記へ 体育協会テニス教室係(☎22-7910 千659-0072 川西町15-3)

「源氏物語」原典を読む講座
9月26日(月)10時~12時 市民センター401室 岡山大学教授・鈴木紀子氏 800円 直接会場へ 岡谷崎潤一郎記念館(☎23-5852)

ガーデニング・花壇管理の現場
9月28日(水)10時集合 市役所北花壇前 公開講座「花壇巡回(初秋編)~」
若若千名 園みどりの課職員 9月21日(水)までに右記へ 園みどりの課(☎38-2103)

幼児の食事とおやつの教室
10月14日(金)10時~11時30分 講義「野菜の上手な与え方」 30組(1歳6カ月~3歳児とその保護者) 1歳以上託児あり予約先着15人 園保健センター(☎31-1586)

神戸大学海事博物館・講演会
10月1日 和船と模型/8日 朝顔丸船首像と船体装飾の歴史 仲島忠次郎コレクション/15日 古代・中世の和船と航路 山田早苗コレクション 15時30分~ 13時30分~ 15時30分
神戸商科大学名誉教授・同館顧問 松木哲氏 杉浦昭典氏/神戸大学・同館専門員 海軍科学部教授・石田憲治氏 文学部教授・高橋昌明氏 海軍科学部助教授・内田誠氏 100人 1,000円(全5回) 学生は無料 氏名(フリガナ)・郵便番号・住所・電話番号・年齢・学生は学校名を記入し、Eメール(siryokan@maritime.kobe-u.ac.jp)かファクド 園神戸大学海事科学部(☎078-431-6247/FAX078-431-3564)

自然科学・海技大学公開講座
「金属の話」若井道夫氏 「青銅鏡の中に見える製作の痕跡」中野徹氏 「0と1だけの世界」藤嘉壽氏
「海の交通ルール」堀晶彦氏 海技大学教授 黒川古文化研究所所長
10月22日 29日 11月5日 12日(土)13時30分~15時 抽選で市民80人 1,000円(全4回) 9月30日(金)までに往復はがきに「公開講座受講希望」・郵便番号・住所・氏名・電話番号・年齢・性別(返信用にも郵便番号・宛先・氏名)を記載し下記へ 園海技大学総務課「公開講座」係(☎38-6201 千659-0026 西蔵町12-24)

納期

9月30日まで
法人市民税・事業所税(7月31日決算の法人等) / 課税課管理担当 38-2015
国民健康保険料(第3期分) / 保険年金課保険担当 38-2035
毎月20日は「阪神地域ノーマイカーデー」
環境にやさしいドライブマナーを

市有地を売却します

郵送による一般競争入札方式で市有地を売却します。案内書や現地を確認の上、入札してください。
入札物件 27件(下表参照) 案内書の配布 9月15日~10月5日、市役所北館受付、管財・検査課、ラポルテ市民サ-ビスコ-ナ- 土・日・祝日はラポルテ市民サ-ビスコ-ナ-のみ 入札期間 9月30日~10月7日 開札日 10月18日(火) 入札資格等 個人・法人を問いません 落札者の決定 最低売却価格以上で、かつ最高の価格をもって入札したかた 入札保証金 入札に先立ち、入札金額の5%以上の入札保証金が必要です 土地代金の支払方法 一括納付と分割納付の2通りがあります。

所在地	地目	地積(愛)	最低売却価格(万円)
虚	三奈南町68	323.57	7,960
許	前田町109-11	117.26	2,780
距	大槻町7-16	79.01	2,080
鋸	川西町100-8	183.78	4,740
漁	川西町101-1	202.56	5,690
湊	川西町104-7	49.98	1,374
魚	津知町153-3	63.58	1,750
亨	津知町158-1	183.28	4,950
亨	津知町159-4	129.67	1,950
京	津知町161-9	255.31	6,260
供	津知町161-10	220.07	5,460
伏	津知町163-1	166.50	4,410
備	津知町163-22	195.81	4,760
兎	津知町165-2	163.44	3,970
競	津知町166-12	170.52	2,560
共	津知町166-23	77.99	2,090
凶	津知町168-5	140.63	3,590
協	津知町168-19	98.86	2,400
匡	津知町175-6	72.21	1,730
郷	伊勢町101-5	268.94	5,540
叫	伊勢町101-8	268.94	5,540
喬	潮見町15-4	226.63	3,780
峡	潮見町15-7	221.33	4,050
境	潮見町15-10	217.38	4,170
強	潮見町15-49	189.04	3,380
彊	潮見町15-51	309.09	5,660
怯	潮見町15-52	240.09	4,270

県住宅再建共済制度がスタートしました

県内に住宅を所有しているかたを対象に、震災の教訓を踏まえ、災害発生時の自助努力や公的支援の限界を補い、助け合いの精神に基づき住宅の再建を支援する、県の住宅再建共済制度がいよいよ始まりました。保険とは異なるため、既存の地震保険等に加えて加入することも可能です。小さな負担で大きな安心が得られるこの制度、ぜひご加入ください。

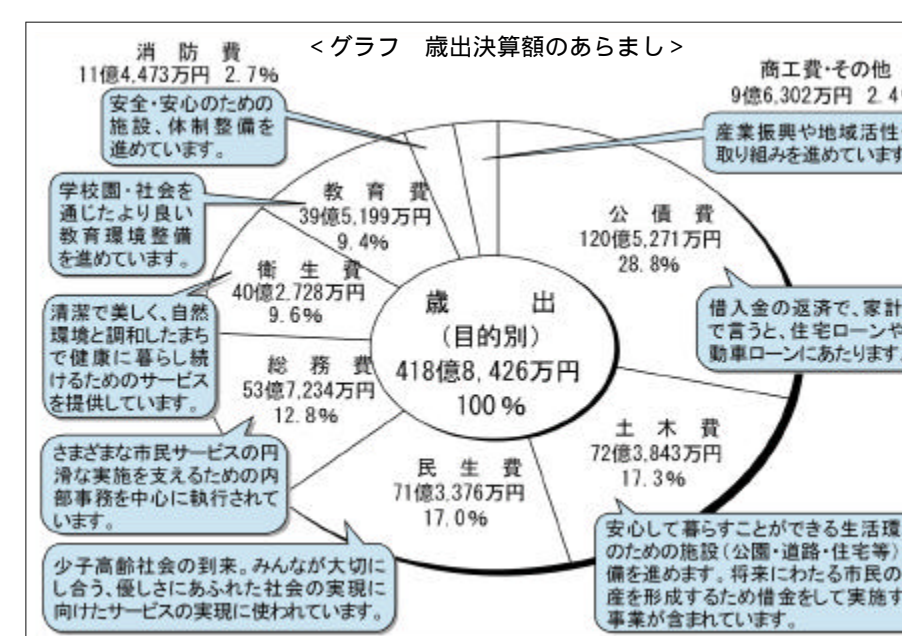
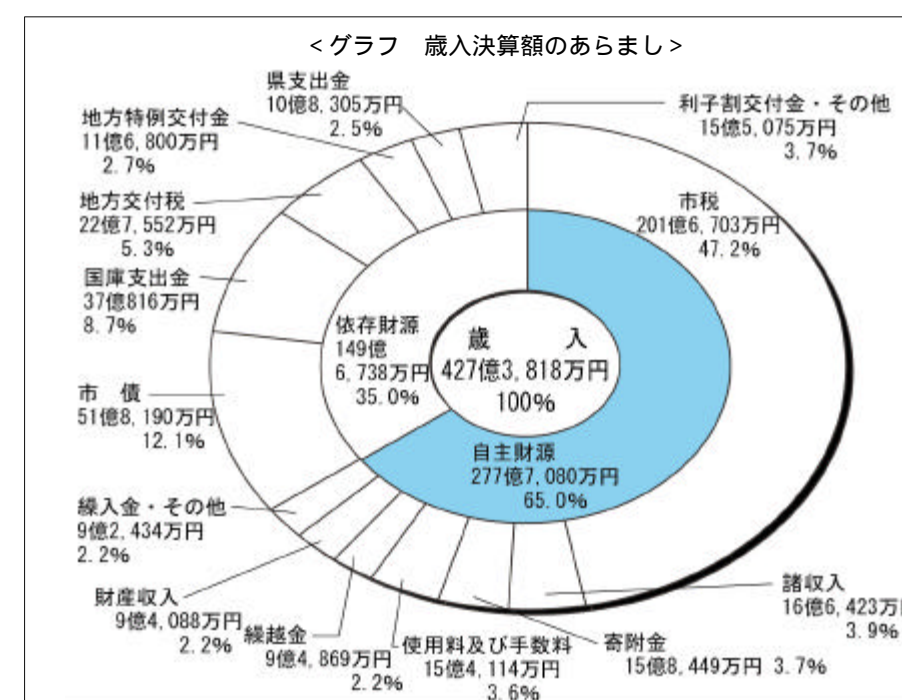
負担と給付
共済負担金 5,000円/年(ただし新規加入年度は500円/月)
共済給付金(自然災害で半壊以上の被害)
住宅再建・購入 600万円
住宅を修復 全壊200万円、大規模半壊100万円、半壊50万円
それ以外で居住を確保 10万円
詳細は、県住宅再建共済基金(☎078-362-9400)のホームページをご参照ください。
ホームページ http://web.pref.hyogo.jp/jutakukyosai/
加入申込書配置場所
県庁、県の出先機関、市(区)役所(町役場) 郵便局、金融機関(三井住友銀行、東京三菱銀行、但馬銀行、みなと銀行、池田銀行、信用金庫、信用組合、労働金庫等) 病院、医院、歯科医院の一部 大規模店舗(コープこうへい、そごう、大丸、ヤマトヤシキ、サティ、マックスバリュ-、関西スーパー、コーナンなど) 駅ターミナル(神戸電鉄、神戸高速鉄道、山陽電鉄、神姫バス等) 個別の支店等への配置には時間がかかる場合があります。
申し込み
加入申込書に必要事項を記入し、県住宅再建共済基金へ郵送で申し込んでください。

お気軽にご利用ください
ラポルテ市民サービスコーナー
窓口ご利用時間
平日(月~金曜日) 午前10時~午後7時
土・日・祝日 午前10時~午後5時
休業日 9月15日~10月13日・20日(木)
交付内容 住民票の写し・印鑑登録証明書・戸籍謄抄本・市県民税課税証明書・固定資産課税台帳記載事項証明書など
【ご注意】土・日・祝日と、平日の午後5時15分以降、戸籍謄抄本・税務証明書等は取り次ぎで発行します。各種届出・登録の手続きは、市役所市民課へ
問い合わせ
ラポルテ市民サービスコーナー 38-3130

芦屋川カレッジ発足20周年記念・秋の公民館講座開講記念
あしやわが夢の街コンサート
日時 10月3日(月)午後1時30分~3時10分 会場 ルナ-ホール 出演 畑儀文(テノール)、城村奈都子(ピアノ)、ヤンネ-館野(バイオリン) 曲目 バイオリン協奏曲/野バラ/からたちの花ほか 参加費 300円 定員 先着600人(直接会場へ)
畑 儀文
問い合わせ 公民館 38-0700

市民1人当たりに使われたお金の内訳

公債費	土木費	民生費	総務費	衛生費
133,883円	80,406円	79,243円	59,677円	44,736円
教育費	消防費	議会費	諸支費	商工費
43,899円	12,716円	4,357円	3,972円	1,749円
災害復旧費	農林水産業費	労働費	合計	465,257円
441円	181円	177円		



平成16年度一般会計決算概要 ~ 昨年度の予算の使われ方に注目! ~

震災から復興10年 芦屋市の財政事情は...?

震災から10年。復興事業は一段落し、人口も増加していますが、まだまだ市の財政は火の車です。平成16年度は単年度で黒字決算となりましたが、本市が「国際文化住宅都市」として発展していくためにも、行政改革を推進してまいります。今後も、いっそうのご理解とご協力をお願いします。

芦屋市の財政状況 全体のあらまし

平成16年度は、震災復興事業をおおむね完了させることにより、「安全・安心」のまちづくりの総仕上げの大きな通過点とするともに、残された課題を整理して今後を引き継ぐこと、まちづくりのなかで市民参画・協働の試みや、精進小学校の建て替え工事など新たな活力の創造を目指しました。市の代表的な会計である一般会計が抱えている課題と対策を中心に、その概要をお知らせします。課題は、「地方債残高」で市民1人当たり約115万円の借入金。平成13年度のピーク時には1,119億円に達しましたが、その後の震災関連事業の収束にともない減少に転じ、平成16年度末には1,035億円となっています。しかしながら、起債制限比率は依然として20.6%と高水準にあり、震災前との比較において額で3倍を超える借入を抱えていることには変わりありません。対策は、「行政改革実施計画」で経費削減合理化と市民参画・協働手法への転換。国・地方を通じた「三位一体の改革」により、公立保育所運営費をはじめとしたいくつかの補助金が廃止されたこともあり、いっそうの効率的な財政運営が求められていますが、平成15年10月に策定しました「行政改革実施計画」に基づく行政経費の削減合理化に努めることにより、財源確保を図ってまいりました。このことは、市民の皆さんの市財政へのご理解とご協力、そして市民参画・協働という、新たな行政参加の果実であると認識しております。

決算のあらまし 4億4,336万5千円の黒字...

項目	内容	用語説明	(単位:千円)
歳入	総額	1年間の収入の総額	42,738,182
歳出	総額	1年間の支出の総額	41,884,258
歳入	歳出差引(-)	収入から支出を引いた額	853,924
繰越	財産	平成17年度も引き続き行う事業に充てる額	410,559
実質	収支(-)	実質的な黒字額	443,365

ただし、依然として年間100億円前後で推移する公債費(借金の返済)や、「三位一体の改革」による地方財政への影響など、予断を許さない状況が続いています。

歳入のあらまし 特徴は「市税収入」
歳入のうち最も多いのは、市民の皆さんから納めていただいた市税・固定資産税をはじめとする市税収入で全体の約半分(47.2%)を占めています。若干の回復傾向はあるものの、ここ数年の減少傾向を脱却するには至っておらず、前年度に比べて0.6%減の201億6,702万6千円となっています。

歳出のあらまし 土木費は減少 衛生・民生費は増加傾向
震災関連経費の縮小に伴い、土木費は大幅に減少しました。その一方で、火葬場整備事業などで衛生費が増加し、また医療費の増大などによる特別会計への繰出金の増加などにより民生費が増加するなど、徐々に生活関連経費への支出が基調となりつつあります。